

シヨセツ中央学区
私書箱9029
シヨセツ、ニューヨーク11791

障害のある子供への食事サービス

親愛なる親/保護者:

National School Lunch Program(NSLP)と School Breakfast Program(SBP)は、バックグラウンドに関係なく、参加するすべての子供たちに健康に必要な栄養価の高い食事を提供することを目指しています。これには、障害のある子どもがNSLPとSBPに参加し、その恩恵を受ける機会を平等に確保することが含まれます。

連邦政府の規制により、学校や機関は、障害のために食事が制限され、提供される食品や予定されたメニューに何らかの変更を加えない限り、フードサービスプログラムに完全に参加できない子供たちに追加料金なしで食事を提供することを義務付けています。お子さんが障害のために代替品が必要だと思われる場合は、詳細についてお問い合わせください。

学校に食事の変更をリクエストし、州の認可を受けた医療専門家または登録栄養士からの医療明細書を学校に提出する必要があります。

この医療明細書には、次のものが含まれている必要がありますが、これらに限定されません。

- 子供の身体的または精神的障害に関する情報で、学校が子供の食事をどのように制限しているかを理解するのに十分なもの、
- 子供の特別な食事のニーズに対応するために何をしなければならないかの説明、
- 変更された食事の場合に省略される食品と推奨される代替品

食事の変更の必要性について質問がある場合は、516-364-

5616で生徒人事サービスの副監督であるエリン・ゴールドスウェイト氏に連絡して、詳細を確認してください。

差別禁止声明:

連邦公民権法およびUSDA公民権規則および政策に従い、USDA、その機関、事務所、従業員、およびUSDAプログラムに参加または管理している機関は、人種、肌の色、出身国、宗教、性別、障害、年齢、婚姻状況、家族/親の状況、公的扶助プログラムから得られる収入、政治的信念に基づいて差別することを禁じられています。または、USDAが実施または資金提供したプログラムまたは活動における、以前の公民権活動に対する報復または報復(すべての基準がすべてのプログラムに適用されるわけではありません)。救済措置と苦情の提出期限は、プログラムやインシデントによって異なります。

プログラム情報のための代替通信手段(点字、大活字、オーディオテープ、アメリカ手話など)を必要とする障害者は、プログラムを管理する州または地方機関に連絡するか、711(音声およびTTY)の電気通信リレーサービスを通じてUSDAに連絡する必要があります。また、プログラム情報は英語以外の言語で提供される場合があります。

プログラム差別の苦情を申し立てるには、プログラム差別の苦情を申し立てる方法およびUSDAオフィスでオンラインにあるUSDAプログラム差別苦情フォームAD-3027に記入するか、USDA宛ての手紙を書き、フォームで要求されたすべての情報を手紙に記入してください。苦情フォームのコピーをリクエストするには、(866)632-9992に電話してください。記入済みのフォームまたはレターを次の方法でUSDAに提出してください。

- 一. **mail:**
U.S. Department of Agriculture Office of the Assistant Secretary for Civil Rights 1400 Independence Avenue, SW, Mail Stop 9410 Washington, D.C. 20250-9410; または
- 二. **ファックス:**
(202) 690-7442; または
- 三. **メール:**
program.intake@usda.gov

この機関は機会均等の提供者です。